

国際  
シンポジウム

# チベット美術の

過

去

現

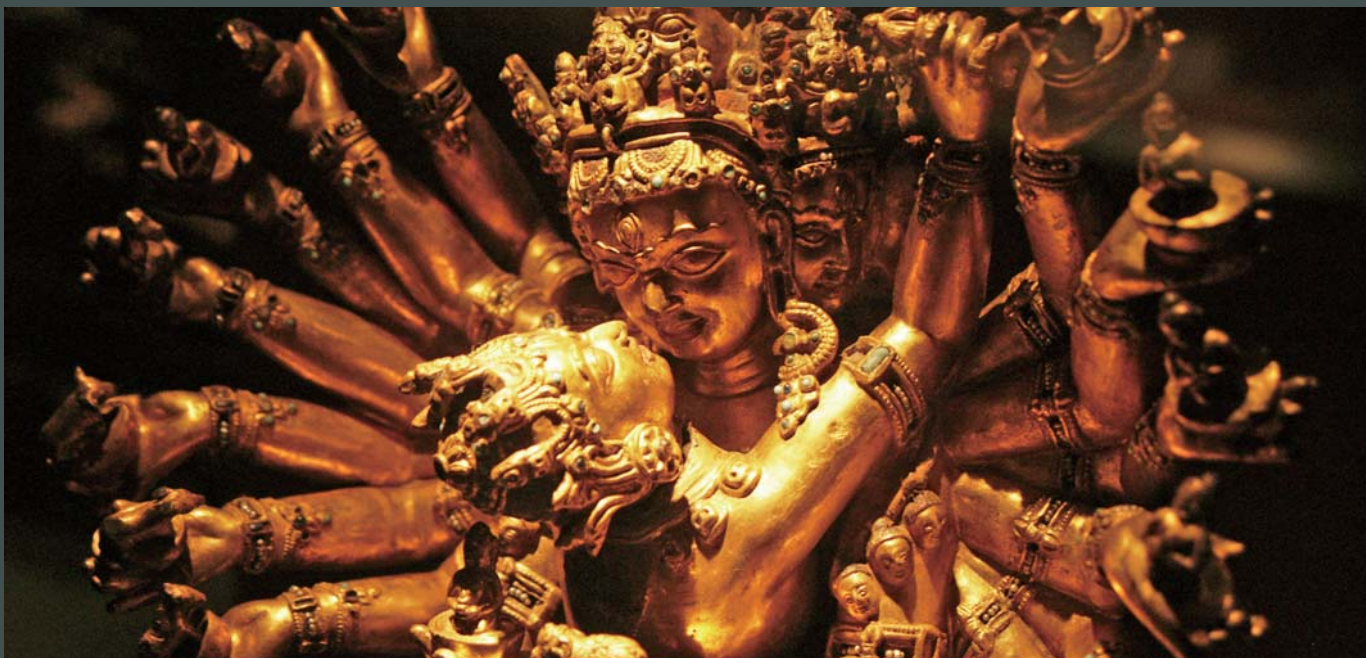
在

未

日時／ **2012.8.25** [土] (10:00~16:50)

場所／ **石川県立歴史博物館 2階 学習ホール** (〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1)

このたび、チベット美術の国際シンポジウムを石川県立歴史博物館において開催いたします。チベットはインドの仏教の伝統を受け継いだ重要な地域です。この地で仏像や壁画、マンダラなどの膨大な数の美術作品が生み出されました。このシンポジウムでは、チベット美術の研究をリードする国際的な研究者が一堂に会し、最新の研究成果を発表します。チベット美術の豊穡な世界に触れる絶好の機会です。皆様の御参加を心からお待ちしています。



1. 10:00~10:15 趣旨説明 **森 雅秀** (金沢大学・教授)
2. 10:15~10:45 「蒙満における成就法と曼荼羅儀軌の相承」 **菊谷竜太** (東北大学・専門研究員)
3. 10:45~11:15 「近代日本人と熱河・承德」 **高本康子** (北海道大学スラブ研究センター・学術研究員)
4. 11:15~11:45 「大谷探検隊とチベット」 **能仁正顕** (龍谷大学・教授)
5. 13:00~13:30 「[大清乾隆年敬造] 銘を持つ仏像と六品仏楼」 **那須真裕美** (種智院大学・非常勤講師)
6. 13:30~14:00 「仏・菩薩像におけるチベット風服制」 **大羽恵美** (日本学術振興会特別研究員・愛知学院大学)
7. 14:00~14:30 「チベットの仏教説話図」 **奥山直司** (高野山大学・教授)
8. 14:30~15:10 「中国蔵伝仏教美術の研究の現状と将来像 (発表は中国語、通訳あり)」  
**羅 文華** (故宮博物院・研究員)
9. 15:20~15:50 「ペンコルチューデ寺院の昔と今」 **川崎一洋** (高野山大学・非常勤講師)
10. 15:50~16:20 「中央チベットを中心としたチベット仏教美術の現状」  
**正木 晃** (宗教研究家)
11. 16:20~16:50 「2012ムスタン調査  
—ローマントン・チャンパラカンとトップチェンラカンの現況—」  
**田中公明** ((財)中村元東方研究所・研究員)

主催 金沢大学国際文化資源学研究中心  
協力 石川県立歴史博物館

連絡先  
金沢市角間町 金沢大学人文学類  
森雅秀 (abhaya@staff.kanazawa-u.ac.jp)

